香住区における就学前施設のあり方に関する

アンケート調査

（結果報告書）

令和６年１月実施

香 美 町 教 育 委 員 会

１．調査の背景・目的

町では、近年の急激な少子化や核家族化に伴う家庭環境の変化等を踏まえ、幼稚園、小・中学校の適正配置や再編を含めた統廃合のあり方について協議を行い、令和４年７月に「香美町学校再編計画（案)」を策定しました。この中で、香住区については、令和６年度に奥佐津・佐津小学校・幼稚園を香住小学校・幼稚園へ統合し、令和８年度には柴山・長井・余部小学校・幼稚園を香住小学校・幼稚園へ統合し、一本化する計画となっています。

この再編計画（案）に伴い、香住区における今後の就学前施設（保育所(園)・幼稚園）のあり方についても検討していくこととしています。

そこで、香住区の就学前の子どもを持つ保護者の意見や考えを把握するため、「香住区における就学前施設のあり方に関するアンケート調査」を実施しました。

なお、町内の就学前施設の現状や動きは次のとおりです。

①香住区

現在、幼稚園は小学校区ごとに６施設（１年保育と２年保育が混在）ありますが、先述のとおり令和８年度に香住幼稚園（1 年保育）に一本化する予定としています。

保育所（園）は私立みなと保育園、私立青葉保育園、公立柴山保育所の３施設あります。私立みなと保育園は認定こども園化を予定しており、私立青葉保育園は認定こども園化を検討しています。

②村岡区

平成３０年に福岡保育所とどんぐり保育園を統合し、私立宝樹保育園（設置者：社会福祉法人宝樹福祉会）に一本化されました。村岡幼稚園、うづか幼稚園、射添幼稚園は数年後の統合を目指しており、認定こども園化を目指す私立宝樹保育園を含め、あり方を検討していきます。

③小代区

平成２３年に３つのへき地保育所を統合し、幼稚園機能を合わせ持つ小代認定こども園（設置者：町）が設置されました。(幼稚園はありません。)

２．調査の概要

⑴調査名

香住区における就学前施設のあり方に関するアンケート調査

⑵調査対象者

香住区の就学前の子ども（令和５年１２月１日現在、０歳～５歳）を持つ保護者２３７人

（単位：人）

配布施設等	配布数
柴山幼稚園	7
香住幼稚園	４９
長井幼稚園	7
余部幼稚園	2
柴山保育所	２６
みなと保育園	５９
青葉保育園	５５
その他（就学前施設未利用者等）	３２
計	２３７

※１家庭に対しアンケート１通を配布したため、各施設等の園児数とアンケートの配布数は必ずしも一致しません。

⑶調査方法

①町内の就学前施設を利用している保護者は、施設を通じて配布・回収

②町内の就学前施設を利用していない保護者は、直接郵送による配布・回収

⑷調査期間

令和６年１月９日（火）～令和６年１月２２日（月）

⑸調査内容

別紙のとおり

３．調査結果の概要

⑴回答数

２３７人中、２００人（８４．４％）

（単位：人）

配布施設等	配布数	回答数
柴山幼稚園	7	7
香住幼稚園	４９	４３
長井幼稚園	7	7
余部幼稚園	2	2
柴山保育所	２６	２４
みなと保育園	５９	５０
青葉保育園	５５	５２
その他（就学前施設未利用者等）	３２	１５
計	２３７	２００

⑵結果の概要

「香住区の就学前施設の再編についてどう思いますか。」については、８２．０％の保護者が「再編すべきである」「どちらかというと再編すべきである」との回答で、再編を望む理由としては、少子化に伴う子どもの減少が多く挙がっています。

また、「香住区の将来の就学前施設のあり方について、適切であると思うもの」については、「公立保育所・幼稚園と２つの私立認定こども園を設置する」が１７．５％、「公立と私立の３つの認定こども園を設置する」が４４．０％、「２つの私立認定こども園を設置する」が２６．０％であり、公立・私立等選択肢があることを望む声が多い結果となりました。

なお、再編の時期については、「２～３年後」が５７．０％、「4～５年後」が２３．０％で、多くの保護者が就学前施設の再編の早期実現を望んでいます。

一方、認定こども園については、８０．０％の保護者が「ぜひ利用したい」「どちらかと言えば利用したい」と回答しており、多くの保護者が認定こども園化を望んでいます。

これに対し、「再編すべきでない」「どちらかというと再編すべきでない」という回答は１６．０％ありました。

４．調査結果の詳細

別紙のとおり

５．調査結果に対する所感

就学前施設については、加速する少子化の現状を踏まえ、ほとんどの保護者が再編を求めており、また５年以内の早期再編実施を望んでいます。

また、再編における選択肢の一つとなる認定こども園化については、現行の幼稚園入園に伴う制服その他準備物調達の負担や、平日の降園後・長期休業中の保育及び通園等に対する不安が多数見受けられ、５歳児まで一貫し安定した環境下での保育・教育を求める声が多く、これらを解決する認定こども園化に多くの保護者が期待していることが分かりました。

一方で、認定こども園化に否定的な保護者の多くが、５歳時における小学校就学に向けた教育を望むとともに、幼稚園への入園という環境の変化が子どもの成長につながると期待していることから、こうした保護者の思いを受け止め、認定こども園化における保育の充実に加え、人と関わる力や思いやりといった社会性の育成、小学校就学へスムーズにつなげるための教育の質等が求められています。

このように認定こども園化が多く求められるなか、再編については、公立と私立の認定こども園化を望む声に加え、定着している公立保育所と幼稚園の維持を求める声もあり、公立と私立の選択肢を望む声が少なからず存在しています。また、著しい少子化を鑑み、私立認定こども園２園の設置でよいとする声や公立・私立に関係なく認定こども園１施設でよいとする意見も見受けられました。

現在の保育所（園）の利用については、ほとんどの保護者が就労によって家庭での保育に欠けることを理由としており、共働きや核家族化によって保育に欠ける家庭が増加傾向にあることが背景にあると考えられます。保育所（園）の選択理由としては、自宅に近いことや父母以外の送迎者の都合のよさ等が挙がっており、今後の就学前施設の配置においても配慮が求められると考えらます。

その他、保育所（園）に求められるサービスとしては、病児・病後児保育（完治前の子どもの保育)、土曜日保育の延長や早朝保育等さらなる保育体制の充実が多く見受けられるとともに、体験保育（保育所（園）の未利用者）や育児相談等を求める声もあり、就学前施設に対するさらなる機能充実が求められています。

なお、長く続いている保育所（園）から幼稚園を経て小学校へ進学する流れへの安心感や再編後の姿がイメージできないことによる不安感等から、再編に対し否定的・消極的な意見も一定数ありました。

今回のアンケート調査の結果を踏まえ、少子化の進捗や社会情勢の変化を鑑み、保護者の意向に十分配慮し、子どもたちの健やかな心身の育成を念頭に、就学前施設のあり方について、早期に検討していくことが求められています。

担当　〒667-1392　香美町村岡区村岡 390-1
香美町教育委員会　こども教育課　就学前施設再編推進室
電話 0796-94-0101